

教育支援プログラム(A)



取組名称	国際ボランティア・海外インターンシップ経験を通じたキャリア開発プログラム
取組学部等	経済学部
取組期間	2020年度

取組概要

本プログラムは、「国際キャリア演習」(演習部門の専攻科目、通年、4単位、履修制限単位内、卒業単位に含む)という名称で開講される経済学科・国際経済学科の臨時開講科目内で実施される取組である。具体的には、夏季研修(2~4週間の国際ボランティア及び海外インターンシップ)を軸にして、英語学習プログラム、そして講習(非常勤講師によるインターンシップ講習会、プレゼンテーション講習会、ボランティア講習会、外部から講師を招聘して行うキャリア講演会、海外事情講習会そして夏季研修後のフォローアップ講習等)から構成される。

国際ボランティアおよび海外インターンシップからなる夏季研修については、教育効果、安全性、そして費用面からそれぞれの専門家からアドバイスを受けたプログラムを学生に提供する。ボランティアに関してはボランティアプラットフォームが提供するプログラム(カンボジア、タイ等)、インターンシップに関しては福岡銀行グローバルソリューション部にご紹介いただく受け入れ先企業において、インターンシッププログラム(タイ等)、を利用する予定である。

本プログラムの目標は、経済学部経済学科および国際経済学科に所属する2年生以上の学生を対象に、受講生が海外インターンシップや国際ボランティアを通じて、国際社会を生きる基本的スキルや態度を身につけると同時に、将来の進路を考えた深い学びを行うことである。基本的スキルとしては国際コミュニケーション力の獲得を目標とする。受講生は、自習プログラムを通じた英語の学習、自らの意見をわかりやすく伝えるプレゼンテーション手法の学習、そして夏季研修での実践を通じてこのスキルを獲得することが求められる。態度としては、主体的に考えて行動する態度、異なる意見を持つ人々と協働する国際性、そして社会へ積極的に貢献する利他性を身につけることが期待される。そして夏季研修の事前・事後の各種研修を通じて、自らのキャリア形成も踏まえた今後の学修計画を立てることが望まれる。

本プログラムの担当者については、経済学部教員としては経済学部長(取組責任者)および国際経済学科主任(取組担当者)、および経済学科主任(取組担当者)が加わる。これらの担当者以外に、以下の非常勤講師(実務家教員)が加わる。第一に、日本NPO

センターの上田英司氏には、夏季研修プログラムのうちボランティアに関してアドバイザーおよび講習講師として協力をいただく。第二に、福岡銀行グローバルソリューション部より海外駐在員事務所滞在経験者から数名を講師として派遣してもらい、海外事情の説明や顧客向けプレゼン資料、レポート作成のご指導をお願いする。第三に、タイにインターンシップで派遣される学生を対象として、事前研修で指導をしていただく外部講師（富松寛考氏）を招聘する。その他、プレゼンテーション・スキルの専門家、海外ビジネス経験のある専門家を講師として招聘予定である。

以下に、本プログラムの実施時期、学生の募集人数、応募資格、応募書類、派遣期間、派遣先の決定方法について説明する。

第一に、実施時期は2020年度（2020年4月～2021年3月）である。

第二に、学生の募集人数は10名である。

第三に、学生の応募資格として、以下の5項目全てを満たしていることが必要である。

- (1)経済学部経済学科あるいは国際経済学科に所属し、2年生以上であること。
- (2)出発前に行われる「補助金受給説明会」および「危機管理オリエンテーション」へ参加することが可能なこと。
- (3)本プログラムの支援額以外に要するコストを自ら用意できること。
- (4)本プログラムへの参加に対して、応募者の保護者が受諾していること。
- (5)健康であること、また派遣先によっては予防接種証明書を提出できること。

第四に、応募書類である。このプログラムに参加を希望する学生は健康診断書、誓約書、パスポート(氏名、パスポート番号などが明記の箇所)のコピー、行動計画表、海外傷害保険の加入証明書を別に定められた期日までに別に定められた場所に提出しなければならない。

第五に、派遣期間である。本プログラムは国際ボランティアおよび海外インターンシップの両方を対象としているので、前者については2～3週間、後者については受け入れ先によって異なり、3～4週間程度を想定している。

第六に、派遣先の決定方法である。本プログラムでは、あらかじめ定められた派遣先の候補のなかから、派遣国でのボランティア・インターンシップ活動の内容を吟味し、そこでの治安動向など諸般の事情を勘案しながら、学生の意向を参考にして派遣先を決める。